

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1．共立女子大学大学院のアドミッション・ポリシー

共立女子大学大学院では、次のような条件を充たす学生を受け入れる。

学術の理論および応用を研究し、その深奥を究めるとともに、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識および卓越した能力を培い、社会に広く貢献する、自立した人材となることに意欲を有している。

【博士前期課程・修士課程】

広い視野に立って精深な学識を身に付け、専攻分野における研究能力と高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培い、社会に広く貢献する、自立した人材となることに意欲を有している。

【博士後期課程】

専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行ない、高度に専門的な業務に従事するに必要な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養い、社会に広く貢献できる自立した人材となることに意欲を有している。

こうした学生を受け入れるために、社会環境の変化や高等教育に対する社会的ニーズの変化、提供する教育内容の改善などにあわせて、随時入学者選抜方法の見直しを図り、多様な受け入れ方法を取り入れて選抜する。

2．研究科・課程のアドミッション・ポリシー

【家政学研究科】

【博士前期課程】

家政学研究科博士前期課程では、人間生活の面から、被服学、食物学、建築・デザイン、児童学についての研究に意欲のある人材を求めている。また、いずれの課程も性別を問わず入学者を受け入れる。

（被服学専攻）

被服学専攻では、衣を中心とした科学技術の進歩および文化の向上に寄与することを目的とし、自然科学および人文科学の両面を踏まえた高い研究能力を有する人材の養成に努める。入学者として求めている人間像は、広い視野と柔軟な思考を備え、研究に対する強い意欲と熱意のある人物である。

(食物学専攻)

食物学専攻では、食物に関する研究能力と社会に貢献できる高度な職業能力を有する人材の育成を目的としている。また、大学等の学際分野でも活躍できる人材の育成を指向しており、次に掲げるような入学者を希望している。

研究活動に対する忍耐力を有し、真摯に努力しながら研究を遂行できる学生

食物の基礎から応用、および健常者から病態者までの栄養生理の研究分野に興味をもち、この分野の研究者として自立したい学生

食物に関する実践的な研究を通じて、関連分野の職業人としての高度な能力を修得したい学生

(建築・デザイン専攻)

建築・デザイン専攻では、学部段階で養成された能力を基礎として、学部の教育内容を高度化した教育課程を通して、生活そのものを学び、「建築」と「デザイン」の有機的な関係を学ぶ。その中で建築・デザイン分野に関するより高度な知識や能力を身に付け、社会で総合化（研究・設計・制作）できる人材を養成することを目的としている。このことから、入学受け入れの対象者は、本学家政学部建築・デザイン学科を卒業した者および他大学において建築・デザイン分野に関する基本的な資質や能力を修得した者としている。

(児童学専攻)

児童学専攻では、学部での教育を踏まえたより専門的な研究・実践を通して、児童教育や発達支援の分野で活躍する人材を養成する。将来、児童学の研究者をめざす学生には、研究者として第一歩を踏み出すための教育を行う。入学受け入れ対象者は、本学家政学部児童学科を卒業した者、他大学において児童学に関する基本的な資質や能力を修得した者、また、児童教育や発達支援の実践において実務経験のある社会人である。意欲をもって研究・実践に取り組む人物を期待している。

【博士後期課程】

（人間生活学専攻）

人間生活学専攻は、生活主体である人間について、自然科学および社会科学・人文科学的諸視点から思索を深め、併せて人間生活にとって不可欠な生活文化に関する探究を積み重ねることにより、生活全般にわたる総合的知識体系の確立に努め、それらの知見に基づいてより豊かな生活を創出する独創力と実践力をもつ高度な研究者・教育者を養成することを目的とする。

入学者の受け入れにあたっては、性別を問わず、この学際的分野の研究に関心を持ち、本学の教育理念を理解し、入学を熱望する、意欲のある学生を受け入れ、また、リフレッシュ教育を望む社会人や、留学生にも広く門戸を開いている。

【文芸学研究科（修士課程）】

文芸学研究科では、入学者が本研究科の人材養成目的を的確に把握し、それに基づいて主体的な学習・研究を遂行することを期待する。

（日本文学専攻）

本専攻は、日本文学全般についての幅広い知識と、作品の読解・鑑賞に関する高度な技術を身につけ、さらにそれらをふまえた実証的な研究方法を修得することによって、研究職・教職をはじめとした専門職に進むことのできる人材の養成をめざしている。

日本文学をより深く学びたい、あるいは文学をとおして日本文化・社会を広く考えたい、あるいは日本語と日本文学の関係をしらべたい、そしてそれらを仕事にも生かしていきたいという、向学心と自立心の旺盛な学生を求めている。

（英文学専攻）

本専攻は、イギリスおよびアメリカの文学や英語学を幅広く学び研究することによって、異文化を理解し、自国文化を相対化する能力を養い、みずから積極的に国際交流を実践できる人材を養成することを目標としている。

異文化間相互理解や相互交流のための手段としての英語コミュニケーション能力（読む、書く、聞く、話す）の向上に意欲を持ち、イギリス文学、アメリカ文学、英語学の分野に深い関心を持つ学生を求めている。

（演劇学専攻）

本専攻は、演劇の理論や日本および西洋の古典劇、現代劇に関する深い知識を得ることを通して、広く演劇の世界に貢献する人材を養成することを目標にしている。

演劇はさまざまな要素から成り立っているため、積極的にそれらの研究に取り組もうとする意欲を持つ学生を求めている。

【国際学研究科（修士課程）】

（国際学専攻）

本専攻では、国際的視野のもと、人文・社会科学にわたる学際的・総合的アプローチによって、世界の特定地域の文化について、あるいは国際システムや国際協力について、高度な専門的知見を培い、国際社会の幅広い場において中核的な役割を担う人材の養成をめざしている。国際学に強い関心を抱き、学問的専門性ととも国際コミュニケーション能力や問題発掘・解決型の実務能力を身につけ、企業の国際業務、文化交流や国際協力等社会活動、地域貢献などで活躍したいという意欲に溢れる人たちを歓迎する。